

## ■令和6年2月19日 臨時記者会見内容

- 1 日 時 令和6年2月19日（月）11:00～11:40
- 2 場 所 市役所本庁舎3階 第1委員会室
- 3 出席者 ○市長、副市長、総務部長、企画部長、地域創生部長、教育次長  
市長公室長  
○酒田記者クラブ11社（山形新聞、荘内日報、読売新聞、河北新報、  
毎日新聞、朝日新聞、NHK、TUY、SAY、YBC、YTS）  
○コミュニティ新聞（記者クラブの承認により出席）

## ■市長発表

### 1 新アリーナ建設の方針について

〈市長発表〉

資料：アリーナ建設について

〈質疑応答〉

記者／(株)プレステージ・インターナショナルさんとの協議の経過について、いつから始まり最終の協議はいつまでだったのですか。

市長／4月にVIに昇格決定してから、酒田市のプロジェクトチーム、アランマーレ山形様、プレステージ・インターナショナル様と協議を開始しました。何度も協議を重ねて、最終的には本年1月21日に玉上社長と意見交換の場を設定して合意したということです。

記者／建設の候補地はどこだったのか。また、公設民営、民設民営など具体的な内容を教えてください。

市長／候補地は10か所程度検討し、市有地として、旧港南小学校と飯森山公園内を検討しました。旧港南小学校は津波の浸水想定区域という問題があり、飯森山公園内では、社会資本整備総合交付金の活用を検討しましたが、結局交付金の要件を満たさないということで、スポーツ庁にも相談いたしましたが、すぐに要件を変えることは難しいと回答をいただき、断念いたしました。

民設民営としては、SPC（特定目的会社）を設立する検討をいたしました。やはり難しいということで、公設民営で検討をいたしました。いずれにしても、酒田市の資金だけでは難しいため、国の社会資本整備総合交付金を検討しましたが、要件に合いませんでした。山形県からは、知事が今回の件に限らず、スポーツ施設に関する考えをお示ししておられるということで、非常に難しいということです。民設民営、公設民営両方ともに難しいという結果になりました。

記者／国や県に要望したものの、難しいということで、酒田市として酒田市内に建設することを断念したということでしょうか。

市長／民設民営も難しい、市が建設する公設民営も難しい。公設は県が建設するということもありますが、今申し上げた通り、県知事のスポーツ施設に対するお考えがあるので、

難しいのではないかと考えました。

**記者**／数十億から百億円の資金が必要になるということですが、具体的にどの要素が一番費用としてかかるのでしょうか。

**市長**／建設費用が一番かかります。建設だけでそのくらいかかると見込みました。

**記者**／酒田市内にアリーナが設けられないということで、本拠地ではなく、あくまで誕生の地となるのですか。

**市長**／これからプレステージ・インターナショナル様とアランマーレ山形様がホームアリーナをどこに設けられるのか決められることだと思いますが、酒田市は誕生の地、マザータウンという言い方もあるようですが、それは変わりません。

**記者**／地域の企業としてチームとの関係を強化しながらということですが、今後具体的にどんなことを考えていますか。

**市長**／移住及び女性活躍等の推進に関する連携協定書に基づき、これまで様々な連携をしてまいりましたので、それはさらに強固なものにしていきたいと思います。大変先進的な企業ですので、一緒に連携して先導して行っていただきたい。チームとの関係は、例えばモンテディオ山形が実施しているような、酒田市民応援デーを設定するとかも考えられます。他に、アランマーレTシャツの着用、クリアファイルの作成、パブリックビューイング、市広報紙でのチームPR、るんるんバスのラッピングなど、これまでやってきたことにプラスして様々な方法で気運を盛り上げていきたいと考えています。

**記者**／社会資本整備総合交付金の交付要件に合わなかったとのことですが、具体的にはどういうことでしょうか。

**市長**／社会資本整備総合交付金の都市公園事業を活用したいと考えましたが、市のD I D地域（人口集中地域）内における公園緑地の住民一人当たりの面積が5㎡未満であれば要件に合ったのですが、酒田市は5.89㎡あるということで該当しないということです。

**記者**／来季から酒田市はホームタウンではなくなるということでしょうか。

**市長**／これからアランマーレ山形様がどこにホームタウンを位置付けるのかということをお決めになるわけですが、まだその点は聞いていません。

**記者**／酒田市としては、来期以降もホームタウンであればと思いますか。

**市長**／そうであることが望ましいし、そうであればありがたいと思います。

**記者**／「プロスポーツチーム「アランマーレ」を核としたスポーツ健康ホームタウンづくり」という計画がありますが、今回、アリーナ建設断念ということで計画変更されることはあるのでしょうか。

**市長**／それは特に変更はありません。アランマーレのホームタウンを中心としたというところは少し外れてしまうかもしれませんが、計画の3本柱、地域経済の活性化、シビックプライドの向上、市民の健康増進は変わらずに進めていきます。

**記者**／アランマーレ山形から将来的にどこにアリーナを作るか聞いていますか。

**市長**／特に聞いていません。

**記者**／協議としては、玉上社長からの酒田市に財政的な負担をかけさせたくないという話

があった時で止まっているのですか。

**市長**／そうです。

**記者**／アランマーレ山形は今シーズンの試合は好調ではなかったが、そういった事情がこの決定に影響を与えていますか。

**市長**／全く影響していません。私も酒田市民もみんな一緒だと思いますが、本当に心から応援していました。北原監督のコメントにもあった通り、本当に選手の皆さんは頑張っておられました。キャプテンが良くまとめ上げたと新聞報道でありましたが、本当に素晴らしいチーム、今シーズンも惜しい試合もありました。精神力の強い素晴らしいチームだと、改めて敬服したところです。

そんな素晴らしいチームのためにアリーナをつくれないういう発表をしなければいけないことが、本当に選手の皆さん、監督には大変申し訳ないという思いでいっぱいです。繰り返しになりますが、アリーナは建てることはできませんが、応援する気持ち或いは選手の皆さんの精神力から学びたいという市民の気持ちは変わりませんし、ますます高まってきているとお伝えしたいです。いずれ日を改めて、監督と選手の皆さんに、私から直接お話しする機会を設けたいと思っています。

**記者**／スポーツの世界は、ある意味勝負の世界、勝っていくことが大事かと思いますが、市長のお考えはいかがですか。

**市長**／新聞報道によると、監督ももちろんそこには力を入れていくと仰っていますし、今年1年で相当のことを学ばれて、次につなげることができると思います。色々な改善点を見つけて相当成長されていると思います。ですから次のシーズンは大変期待をしています。

**記者**／玉上社長とお話した1月21日から今日の発表まで、1か月かかった理由を教えてください。

**市長**／この件は、色々な方面の方に相談しており関係者の方がたくさんいらっしゃるの、その方々へのご説明をしていたのが理由の一つです。

それから、選手の皆さんがレギュラーシーズン中だったので、そんなときに発表はできないと思っていたので、まずレギュラーシーズンが終わってからと考えました。レギュラーシーズンが終わったら、直接私の口からご説明し、その後に発表したいと準備を進めていたのですが、ちょっと報道が早く出てしまい残念でしたが、きちんと選手の皆さんに私から説明した後で発表したいと思っていました。

**記者**／建設について長期で検討するというのは考えられなかったのですか。

**市長**／建設が難しいとすれば、その結論を引き延ばすべきではないと思いました。酒田市にアリーナができないとなれば、ホームアリーナを探さなければいけない。期限が迫ってから、建設することはできませんでしたとお伝えするのは無責任だと思いました。今回、監督をはじめ選手の皆さんに大変ショックを与えていると気にしていますが、それは、早くホームアリーナを探せるようにということで、早めに結論を出させていただいたということです。SVリーグに申請しているチームには、まだホームアリーナについて地域と協議していないというところもあるようですが、酒田市は詳細な検討を前倒しして、選手の

皆さんが適切にホームアリーナを設けて活躍できるように早めの決断をさせていただきました。

**記者**／最終の確認をした場で、プレステージ・インターナショナルさんから資金は出せないという言葉があったのですか。

**市長**／その場では、出す出さないなどの話はしませんでした。酒田市は建てることのできないということに対してご理解をいただきました。

**地域創生部長**／酒田市では、総額数十億円から百億円を超える資金を調達することは難しいというお話をさせていただいて、そこにご理解をいただきました。酒田市に建設はできないということに合意をしたというような趣旨です。

**記者**／プレステージ・インターナショナル側からは、100億円程度の投資はできないという話があったのですか。

**地域創生部長**／これまでの経過の中でも、一定程度の負担という話は当然ありましたが、建設をするにあたって具体的な数字の話までは出てきていない状況でした。

**記者**／来シーズンのホームアリーナはどこを使うのか聞いていますか。

**市長**／私は聞いておりません。

**記者**／今回ホームタウンでなくなると、練習場所とか選手の生活している場所なども酒田から離れていくのでしょうか。

**市長**／そのことについても、どうなるのかは聞いていません。少なくとも練習会場は、協定書の中で協力するとしているので、酒田で練習していただきたいと思っていますが、どうされるかはアランマーレ山形様がお決めになること。新聞報道でコメントも拝見したが、私は直接聞いていません。

**市長**／今回の件は、私も本当に残念で申し訳ない思いです。繰り返しになりますが、関係者の皆さんに申し訳ない気持ちでいっぱい。なぜなら、地域の皆様に愛され、ともに成長するチーム、それから女性が活躍できる場を増やし、女性応援のシンボルとなるチーム。そして、北原監督がいつもおっしゃっている、強いだけでは駄目だと、善くて強いチームなんだということで、私は個人的にも大変そのチームのコンセプトに共感しておりますし、また酒田市に本当にぴったりなチームだと思っています。そして、具体的な地域貢献活動も本当にしてくださっている。選手の皆さんにも何度もお会いしていますが、本当に大好きで、いてくれるだけで本当に嬉しいと思っていたので、それがこういうホームアリーナを建設できないということで、本当に残念に思っています。

地方都市には、SVリーグの条件がちょっと厳し過ぎるのではないかと考えています。色々と機構も考えがあつての条件だとはもちろんわかっておりますけれども、それが逆に、裾野を広げることの、障がいにならないかなと感じています。この件では、酒田市だけではなく、地方都市は大変困っていると思っています。ぜひ地方に、そういったプロスポーツ或いはスポーツのすばらしさを伝えるためには、条件の再考も必要ではないかというようなことは、機会があるごとに地方都市の一意見として、私は申し述べていきたいと思っ

ています。

アランマーレ山形様も、きっと同じように地域のためにやっているのになぜこういうことになったのかと、非常に残念に思われているのではないかと想像いたしますので、そこは機会あるごとに、地方都市の意見として、申し述べていきたいというふうに思っています。